

成績評価における客観的な指標の算出方法

授業科目において、出席状況、授業態度、レポート・論文の提出状況、定期試験の結果等を基準にして担当教員が総合的に判断した成績評価を行っている。

成績の評価は、S（100点～90点）A（89点～80点）、B（79点～70点）、C（69点～60点）、D（59点以下）とし、S、A、B、Cを合格としている。

また、学生の成績を示す客観的な指標としてGPAを用いる。

具体的な算出方法は、

GPA = 各科目の(単位数×評価ポイント)の合計÷総単位数（履修登録単位の総数）
（評価ポイント S:4ポイント、A:3ポイント B:2ポイント C:1ポイント D:0ポイント）

GPAは半期ごとに求め、学生自身の学修状況を理解するために役立つ。

卒業の認定に関する方針

卒業の認定に関しては、卒業要件単位数（62単位）を満たすと同時に専修学校設置基準で定める必要授業時間の年間800単位時間および専門士の称号の要件1700単位時間を満たす必要があることを学則に明記している。

年度末において、各学生における科目の成績評価及び取得単位数をもとに卒業判定会議を開き学生一人一人の学修状況を確認して卒業認定を行なっている。